

ジョセフ・ロビネット・バイデン・ジュニア大統領 閣下

臨界前核実験の実施に対して抗議します

貴国が2020年11月にネバダ州で実施した臨界前核実験に対して抗議します。

私たち生活協同組合は、核兵器のない、戦禍のない平和な社会を望んでいます。唯一の戦争被爆国である日本は、被ばく者が中心となり、核兵器廃絶に向けての署名を世界に呼びかけてきました。

核兵器が非人道兵器である世論が高まり、国連で採択された核兵器禁止条約を批准した国と地域が発効に必要な50に達した直後の2020年11月に臨界前核実験をおこなったと公表したことは、看過できるものではありません。

核兵器を違法とし、廃絶を掲げた国際条約が発効した現在において、貴国は「低出力核」と呼ばれる威力を抑えた核兵器の増強や、核関連施設の近代化のための予算を拡充するなど核戦力の強化をすすめられています。世界はいま、「核兵器による安全保障」から「核兵器のない世界による安全保障」へと向かい、アメリカ合衆国新政権が核兵器廃絶の道へとすすまれることを待ち望んでいます。

「核兵器のない平和な世界」を切に願う観点から、貴国による今後の核実験の計画と核兵器の開発をやめ、核兵器廃絶への声を真摯に受けとめられることを求めます。

2021年2月15日

生活協同組合コープみえ
理事長 鈴木 稔彦

三重県生活協同組合連合会
会長理事 上野 達彦